



JAPAN LIFESAVING ASSOCIATION

e-learning導入時の 講習会運営簡易マニュアル

※15ページ以降に、復活講習会1日開催バージョンの報告資料を掲載しています。
講習実施の参考にしてください。

●BLS講習⇒WS講習⇒復活講習1日開催パック（JLA主管）

作成：2020年5月20日

第1回改編：2021年4月20日

第2回改編：2022年4月1日

第3回改編：2023年4月5日

JLAアカデミー本部

◆BLS講習会（e-learning対応）《単独開催》

【ポイント】

- ・BLS資格の取得が可能
- ・受講者の拘束時間は最大**4時間**程度
- ・今年度、ベーシックSLS資格やPLG資格の取得を**予定していない**方向けの講習
- ・学科は**自宅で動画視聴（e-learning）**※受講条件に位置付ける
- ・実技講習、実技検定、学科検定は講習会場で実施

LIFESAVERS ページ設定

- ・主管者にて設定
- ・個人インストラクター主管の場合は、これまで同様JLAへ依頼して設定

講習会開催の 承認

- ・都道府県協会は、開催について問題が無ければ速やかに承認すること（都道府県協会主管の場合は省略）

教本の事前発注 動画URLの送信

- ・主管者は次の①～③の手順で申込者個人に教本を発送する手配をとること ①LIFESAVERSの申込者情報を適宜確認し、講習会費支払い済み受講者の住所リストを作成 ②住所リストをJLAアカデミー事務局（academy@jla.gr.jp）まで送信 ③JLAアカデミー事務局から受講者に教本を発送（主管者は①②を担当）
- ・主管者は講習会費支払い済みの申込者にBLS学科講習解説動画のURLを送信

その他の教材発注

- ・主管者は講習会データバックを用いて、教本以外の教材発注（受講人数の報告）を行うこと
- ・この手配により、JLAアカデミー事務局より学科試験、アンケート、フェイスシールド（キーホルダー式）、修了証を指定住所に送付
- ・練習用フェイスシールドは送付しない

講習会の実施

- ・感染予防対策は可能な限り行うこと（室内の換気等）
- ・人工呼吸の指導はしない。
- ・開講式、実技講習、実技検定、学科検定、閉講式を含め、4時間以内に終了するように運営すること
- ・タイムテーブルについては次ページを参考にし、実態に合わせて主管者にて作成すること

講習会の報告

- ・主管者は講習会データバックを用いてJLAアカデミー事務局（academy@jla.gr.jp）に結果報告
- ・出欠については、主管者にてLIFESAVERSの受講者一覧画面で設定すること
- ・欠席者がいた場合も、主管者にてLIFESAVERSの受講者一覧画面から該当者をキャンセルしておくこと
- ・報告のあったデータバックをもとに、JLAにて結果報告をもとに受講者の合否を確定
- ・個人インストラクター主管の場合は、講習運営費の請求をJLAアカデミー事務局に送付すること
- ・主管者からの返却教材は、昨年度同様JLAアカデミー事務局（横浜市みなとみらい）への送付とする

BLS講習会 講習日程例

日本ライフセービング協会

【e-learning版】

JLAアカデミー本部 BLS委員会

時刻	講習内容	時間	指導担当
8:30	指導員・スタッフ集合		
8:40	打ち合わせ 会場準備		
8:50	受講生受付		
9:00	開講式	0:05	
9:05	本講習の意義	0:20	
9:25	④心肺蘇生の実際	0:40	
10:05	⑥気道異物除去	0:05	
10:10	⑧ファーストエイド(FA)	0:05	
10:15	休憩	0:05	
10:20	④心肺蘇生の実際	1:00	
11:20	総合シミュレーション課題	0:25	
11:45	休憩	0:05	
11:50	実技検定	0:30	
12:20	学科検定	0:30	
12:50	閉講式	0:10	
13:00	終了・片付け・解散		

※ 上記はあくまで一例であり、受講者の人数や主管者の判断によってアレンジを可能とする

◆ウォーターセーフティ講習会（e-learning対応）《単独開催》

【ポイント】

- ・ウォーターセーフティ資格の取得が可能
- ・受講者の拘束時間は最大**4時間**程度
- ・今年度、ベーシックSLS資格やPLG資格の取得を**予定していない**方向けの講習
- ・学科は**自宅で動画視聴（e-learning）**※受講条件に位置付ける
- ・実技講習、実技検定、学科検定は講習会場で実施

LIFESAVERS ページ設定

- ・主管者にて設定
- ・個人インストラクター主管の場合は、昨年同様JLAへ依頼して設定

講習会開催の 承認

- ・都道府県協会は、開催について問題が無ければ速やかに承認すること（都道府県協会主管の場合は省略）

教本の事前発注 動画URLの送信

- ・主管者は次の①～③の手順で申込者個人に教本を発送する手配をとること ①LIFESAVERSの申込者情報を適宜確認し、講習会費支払い済み受講者の住所リストを作成 ②住所リストをJLAアカデミー事務局（academy@jla.gr.jp）まで送信 ③JLAアカデミー事務局から受講者に教本を発送（主管者は①②を担当）
- ・主管者は講習会費支払い済みの申込者にウォーターセーフティ学科講習解説動画のURLを送信

その他の教材発注

- ・主管者は講習会データパックを用いて、教本以外の教材発注（受講人数の報告）を行うこと
- ・この手配により、JLAアカデミー事務局より学科試験、アンケート、修了証を指定住所に送付

講習会の実施

- ・感染予防対策は可能な限り行うこと（室内の換気等）
- ・実技の内容については特に制限はしない。
- ・開講式、実技講習（検定含む）、学科検定、閉講式を含め、4時間以内に終了するように運営すること
- ・タイムテーブルについては次ページを参考にし、実態に合わせて主管者にて作成すること

講習会の報告

- ・主管者は講習会データパックを用いてJLAアカデミー事務局（academy@jla.gr.jp）に結果報告
- ・出欠については、主管者にてLIFESAVERSの受講者一覧画面で設定すること
- ・欠席者がいた場合も、主管者にてLIFESAVERSの受講者一覧画面から該当者をキャンセルしておくこと
- ・報告のあったデータパックをもとに、JLAにて結果報告をもとに受講者の可否を確定
- ・個人インストラクター主管の場合は、講習運営費の請求をJLAアカデミー事務局に送付すること
- ・主管者からの返却教材は、昨年度同様JLAアカデミー事務局（横浜市みなとみらい）への送付とする

ウォーターセーフティ講習会 講習日程例

日本ライフセービング協会

【e-learning版】

JLAアカデミー本部 ウォーターセーフティ委員会

時刻	講習内容	時間	指導担当
8:30	指導員・スタッフ集合		
8:40	打ち合わせ 会場準備		
8:50	受講生受付		
9:00	開講式	0:05	
9:05	本講習の意義	0:20	
9:25	移動・更衣	0:20	
9:45	準備体操・ウォーミングアップ	0:05	
9:50	③ウォーターセーフティプログラムの実際	1:00	
10:50	休憩	0:10	
11:00	③ウォーターセーフティプログラムの実際	1:00	
12:00	④安全管理	0:10	
12:10	クールダウン	0:05	
12:15	更衣・移動・休憩	0:20	
12:35	学科検定	0:15	
12:50	閉講式	0:10	
13:00	終了・片付け・解散		

※ 実技時間を確保するために、プールサイド等で学科検定を実施することも可能
 この場合、施設管理者への確認、受講者への事前周知、体調への配慮を十分に講じる事
 ※ 上記はあくまで一例であり、受講者の人数や主管者の判断によってアレンジを可能とする

◆ベーシック・サーフライフセービング講習会(e-learning対応)《BLS,WS同時開催》

【ポイント】

- ・BLS、ウォーターセーフティ（WS）、ベーシック・サーフライフセーバー資格の取得が可能
- ・受講者の拘束時間は**4日間**
- ・すでに**BLS資格、WS資格を取得している方も、今年度は同日程のカリキュラムを受講してもらう**ただし、取得済みの資格のe-learning視聴は任意、検定試験は免除とする
- ・未取得資格の学科は**自宅で動画視聴（e-learning）**※受講条件に位置付ける
- ・実技講習、実技検定、学科検定は講習会場で実施

LIFESAVERS ページ設定

- ・主管者にて設定
- ・同日程、同会場の**BLS講習、WS講習、ベーシックSLS講習会のページ設定**をすること
- ・次のような設定は**認めない**⇒BLSとWSを1日目に設定し、残り3日でベーシックSLSを設定。

講習会開催の 承認

- ・都道府県協会は、開催について問題が無ければ速やかに承認すること（都道府県協会主管の場合は省略）

教本の事前発注 動画URLの送信

- ・主管者は次の①～③の手順で申込者個人に教本を発送する手配をとること ①LIFESAVERSの申込者情報を適宜確認し、講習会費支払い済み受講者の住所リストを作成 ②住所リストをJLAアカデミー事務局（academy@jla.gr.jp）まで送信 ③JLAアカデミー事務局から受講者に教本を発送（主管者は①②を担当）
- ・主管者は講習会費支払い済みの申込者に各学科講習解説動画のURLを送信

その他の 教材発注

- ・主管者は講習会データパックを用いて、教本以外の教材発注（受講人数の報告）を行うこと
- ・この手配により、JLAアカデミー事務局より学科試験、アンケート、フェイスシールド（キーホルダー式）、三角巾、保護ガーゼ、修了証を指定住所に送付
- ・練習用フェイスシールドは送付するが、ダミー使用時の人工呼吸は模擬動作に留める

講習会の実施

- ・感染予防対策は可能な限り行うこと（室内の換気等）
- ・開講式、実技講習、実技検定、学科検定、閉講式を含め、4日間で終了するように運営する
- ・BLS資格の実技検定時間は設けず、実技講習の習熟度をもって可否の評価とする
- ・BLSとWSの学科検定について、取得済み者がいる場合にはその開始時間に配慮すること
- ・指導員は**レサシテーションマスクを使用した人工呼吸のデモンストレーションを行うこと**
- ・タイムテーブルについては次ページを参考にし、実態に合わせて主管者にて作成すること

講習会の報告

- ・主管者は3講習会分のデータパックをJLAアカデミー事務局（academy@jla.gr.jp）に結果報告すること
- ・出欠については、主管者にてLIFESAVERSの受講者一覧画面で設定すること
- ・欠席者がいた場合も、主管者にてLIFESAVERSの受講者一覧画面から該当者をキャンセルしておくこと
- ・報告のあったデータパックをもとに、JLAにて結果報告をもとに受講者の可否を確定
- ・個人インストラクター主管の場合は、講習運営費の請求をJLAアカデミー事務局に送付すること
- ・主管者からの返却教材は、昨年度同様JLAアカデミー事務局（横浜市みなとみらい）への送付とする

ベーシック・サーフライフセービング講習会 講習日程例

日本ライフセービング協会

【e-learning版】

JLAアカデミー本部 サーフライフセービング委員会

時刻	1日目	時間	指導	時刻	2日目	時間	指導	時刻	3日目	時間	指導	時刻	4日目	時間	指導
8:30	指導員・スタッフ集合			8:30	指導員・スタッフ集合			8:30	指導員・スタッフ集合			8:30	指導員・スタッフ集合		
8:40	打ち合わせ 会場準備			8:40	打ち合わせ 会場準備			8:40	打ち合わせ 会場準備			8:40	打ち合わせ 会場準備		
8:50	受講生受付			8:50	受講生受付			8:50	受講生受付			8:50	受講生受付		
9:00	開講式/はじめに	0:10		9:00	体調確認等	0:05		9:00	体調確認等	0:05		9:00	体調確認等	0:05	
9:10	LSとは?	0:40		9:05	BLS学科検定 WS学科検定 Basic学科検定	1:00		9:05	⑦応急手当 止血と包帯・三角巾 直接圧迫のみ 搬送 ツーパーソン	0:55		9:05	BLS実技確認 吐物対応 搬送後のCPR 回復体位	1:00	
9:50	休憩	0:10		10:05	休憩	0:05		10:00	休憩	0:05		10:05	休憩	0:10	
10:00	BLS実技確認 手順確認	0:50		10:10	BLS実技確認 吐物対応	1:00		10:05	BLS実技確認 吐物対応 搬送後のCPR 回復体位	1:50		10:15	応急手当検定 直接圧迫のみ	0:10	
10:50	休憩	0:10		11:10	昼食・休憩・移動・更衣	1:00		11:55	昼食・休憩・ 移動・更衣	1:00		10:25	CPR検定 搬送→CPR →吐物除去	1:00	
11:00	BLS実技確認 AEDの取り扱い	1:00		12:10	ウォーミングアップ	0:10		12:55	ウォーミングアップ	0:10		11:25	昼食・休憩・ 移動・更衣	1:00	
12:00	昼食・休憩・ 移動・更衣	1:00		12:20	③サーフスキルとトレーニング サーフスイム技術/フィットネス LSのためのリスクマネジメント	0:25		13:05	③サーフスキルとトレーニング サーフスイム技術/フィットネス LSのためのリスクマネジメント	0:20		12:35	サーフスイム技術/ フィットネス	0:20	
13:00	ウォーミングアップ	0:10		12:45	⑥サーフレスキュー チューブレスキュー 意識あり	0:50		13:25	ボード技術	0:30		12:55	チューブレスキュー 復習	0:30	
13:10	WSプログラム パディシステム ボディーローテーション スクーリング 浮身・立ち泳ぎ ライフジャケット	1:00		13:35	休憩	0:10		13:55	⑥サーフレスキュー チューブレスキュー 意識なし シグナル キャリア	1:10		13:25	ボードレスキュー 復習	0:30	
14:10	休憩	0:10		14:15	⑥サーフレスキュー ボードレスキュー 意識なし シグナル キャリア	1:00		15:05	休憩	0:10		13:55	休憩	0:15	
14:20	③サーフスキルとトレーニング サーフスイム技術/フィットネス LSのためのリスクマネジメント	0:20		15:15	休憩	0:10		15:15	⑥サーフレスキュー ボードレスキュー 意識なし シグナル キャリア	1:10		14:10	チューブレスキュー検定	0:40	
14:40	ボード技術	0:30		15:25	⑥サーフレスキュー チューブレスキュー 意識なし シグナル キャリア	1:00		16:25	休憩	0:10		14:50	休憩	0:10	
15:10	⑤サーフパトロール シグナル	0:10		16:25	休憩	0:10		16:35	フィットネス(RSR) クールダウン	0:25		15:00	ボードレスキュー検定	0:40	
15:20	休憩	0:10		16:35	フィットネス(RSR) クールダウン	0:25		17:00	終了・更衣・片付け・解散			15:40	フィットネス検定	0:20	
15:30	⑥サーフレスキュー ボードレスキュー 基本操作 意識あり	0:50		17:00	終了・更衣・片付け・解散							16:00	更衣・移動	0:20	
16:20	休憩	0:10										16:20	閉講式	0:40	
16:30	フィットネス(RSR) クールダウン	0:30											学科再試験含む		
17:00	終了・更衣・片付け・解散											17:00	終了・片付け・解散		

※ BLS資格の実技検定は、4日間トータルでの習熟度によって可否を判断する。

※ 学科検定の実施日時については、BLS、WS資格取得済み者がいる場合には配慮すること。

例えば、各日の最初の時間帯に設定すれば、取得者はベーシックSLS資格の試験時間に合わせて集合したり、試験対策時間に充当できる。

※ 上記はあくまで一例であり、受講者の人数や主管者の判断によってアレンジを可能とする

◆ プールライフガーディング講習会(e-learning対応)《単独開催》

【ポイント】

- ・ プールライフガード資格の取得が可能
- ・ 受講者の拘束時間は**1日間**（プール施設利用の関係上**0.5日×2回の開催も可能**）
- ・ **BLS資格未取得者は、BLS講習会単独開催を受講するか、他団体のBLS資格を取得していること**
受講予定者でBLS資格未取得者がいた場合は、BLS講習会を単独開催（0.5日）するとよい
- ・ 学科は**自宅動画視聴**（e-learning）※受講条件に位置付ける
- ・ 実技講習、実技検定、学科検定は講習会場で実施

LIFESAVERS ページ設定

- ・ 主管者にて設定

講習会開催の 承認

- ・ 都道府県協会は、開催について問題が無ければ速やかに承認すること（都道府県協会主管の場合は省略）

教本の事前発注 動画URLの送信

- ・ 主管者は次の①～③の手順で申込者個人に教本を発送する手配をとること ①LIFESAVERSの申込者情報を適宜確認し、講習会費支払い済み受講者の住所リストを作成 ②住所リストをJLAアカデミー事務局（academy@jla.gr.jp）まで送信 ③JLAアカデミー事務局から受講者に教本を発送（主管者は①②を担当）
- ・ 主管者は講習会費支払い済みの申込者にプールライフガーディング学科講習解説動画のURLを送信

その他の 教材発注

- ・ 主管者は講習会データバックを用いて、教本以外の教材発注（受講人数の報告）を行うこと
- ・ この手配により、JLAアカデミー事務局より学科試験、アンケート、修了証を指定住所に送付

講習会の実施

- ・ 感染予防対策は可能な限り行うこと（室内の換気等）
- ・ 開講式、実技講習、実技検定、学科検定、閉講式を含め、1日間で終了するように運営する
- ・ **指導員はレサシテーションマスクを使用した人工呼吸のデモンストレーションを行うこと**
- ・ タイムテーブルについては次ページを参考にし、実態に合わせて主管者にて作成すること

講習会の報告

- ・ 主管者は講習会データバックを用いてJLAアカデミー事務局（academy@jla.gr.jp）に結果報告
- ・ 出欠については、主管者にてLIFESAVERSの受講者一覧画面で設定すること
- ・ 欠席者がいた場合も、主管者にてLIFESAVERSの受講者一覧画面から該当者をキャンセルしておくこと
- ・ 報告のあったデータバックをもとに、JLAにて結果報告をもとに受講者の合否を確定
- ・ 個人インストラクター主管の場合は、講習運営費の請求をJLAアカデミー事務局に送付すること
- ・ 主管者からの返却教材は、昨年度同様JLAアカデミー事務局（横浜市みなとみらい）への送付とする

プールライフガーディング講習会 講習日程例

日本ライフセービング協会

【e-learning版】

JLAアカデミー本部 プールライフガーディング委員会

時刻	講習内容	時間	指導担当
8:30	指導員・スタッフ集合		
8:40	打ち合わせ 会場準備		
8:50	受講生受付		
9:00	開講式	0:10	
9:10	準備体操・ウォーミングアップ	0:10	
9:20	⑦救助	1:10	
10:30	休憩	0:10	
10:40	⑦救助	1:20	
12:00	昼食・休憩・移動・更衣	1:00	
13:00	理解度テスト【1】【2】(解説含む)	0:55	
13:55	休憩	0:05	
14:00	⑩プール・ライフガードによる 一次救命処置	0:50	
14:50	移動・更衣	0:20	
15:10	⑦救助	0:50	
16:00	休憩	0:10	
16:10	⑦救助	0:50	
17:00	休憩	0:10	
17:10	実技検定	0:30	
17:40	閉講式	0:10	
17:50	終了・片付け・解散		

※ 上記はプールを終日利用できた場合の日程例です。

プールの借用時間に応じて、複数日程での実施など、柔軟に対応してください。

※ 上記はあくまで一例であり、受講者の人数や主管者の判断によってアレンジを可能とする。

◆更新講習会（e-learning対応）《単独開催》

【ポイント】

- ・BLS資格、認定LS資格の更新が可能
- ・受講者の拘束時間は最大**3時間**程度
- ・学科は**自宅**で**動画視聴**（e-learning）※受講条件に位置付ける
- ・実技講習、実技検定、学科検定は講習会場で実施

LIFESAVERS ページ設定

- ・主管者にて設定

講習会開催の 承認

- ・都道府県協会は、開催について問題が無ければ速やかに承認すること（都道府県協会主管の場合は省略）

教本の事前発注 動画URLの送信

- ・主管者は次の①～③の手順で申込者個人に教本を発送する手配をとること ①LIFESAVERSの申込者情報を適宜確認し、講習会費支払い済み受講者の住所リストを作成 ②住所リストをJLAアカデミー事務局（academy@jla.gr.jp）まで送信 ③JLAアカデミー事務局から受講者に教本を発送（主管者は①②を担当）
- ・主管者は講習会費支払い済みの申込者にBLS学科講習解説動画のURLを送信

その他の教材発注

- ・主管者は講習会データバックを用いて、教本以外の教材発注（受講人数の報告）を行うこと
- ・この手配により、JLAアカデミー事務局より学科試験、アンケート、修了証を指定住所に送付
- ・練習用フェイスシールドは送付しない

講習会の実施

- ・感染予防対策は可能な限り行うこと（室内の換気等）
- ・人工呼吸の指導はしない。
- ・開講式、実技講習、実技検定、学科検定、閉講式を含め、3時間以内に終了するように運営すること
- ・タイムテーブルについては次ページを参考にし、実態に合わせて主管者にて作成すること

講習会の報告

- ・主管者は講習会データバックを用いてJLAアカデミー事務局（academy@jla.gr.jp）に結果報告
- ・出欠については、主管者にてLIFESAVERSの受講者一覧画面で設定すること
- ・欠席者がいた場合も、主管者にてLIFESAVERSの受講者一覧画面から該当者をキャンセルしておくこと
- ・報告のあったデータバックをもとに、JLAにて結果報告をもとに受講者の合否を確定
- ・個人インストラクター主管の場合は、講習運営費の請求をJLAアカデミー事務局に送付すること
- ・主管者からの返却教材は、昨年度同様JLAアカデミー事務局（横浜市みなとみらい）への送付とする

更新講習会 講習日程例

日本ライフセービング協会

【e-learning版】

JLAアカデミー本部 BLS委員会

時刻	講習内容	時間	指導担当
12:30	指導員・スタッフ集合		
12:40	打ち合わせ 会場準備		
12:50	受講生受付		
13:00	開講式	0:05	
13:05	本講習の意義	0:10	
13:15	BLSの手順 【ダミー人形で実習】 普段どおりの呼吸「なし」→胸骨圧迫 【ダミー人形+AEDトレーナーで実習】 傷病者の発見～心肺蘇生の再開まで 一連の動作を練習 回復体位 ※途中休憩あり	2:00	
15:15	実技検定 【ダミー人形+AEDトレーナーを使用】 傷病者の発見～心肺蘇生の再開まで	0:20	
15:35	学科検定 【JLA指定の学科検定用紙を使用】	0:20	
15:55	閉講式	0:05	
16:00	終了・片付け・解散		

※ 上記はあくまで一例であり、受講者の人数や主管者の判断によってアレンジを可能とする

■閲覧利用上の留意点

- ・講習会費支払い者以外への転送等、いかなる理由・手法であっても禁止です。
- ・申し込みのあった講習会の動画URLだけをメールで送ってください。
- ・その他ご質問等がある場合には、下記までご連絡ください。

【お問い合わせ先】

■日本ライフセービング協会事務局 佐藤洋二郎宛
academy@jla.gr.jp

2023年4月1日以降
パスワードが変更されています。
ご注意ください。

【BLS講習会】

<https://ls.jla-lifesaving.or.jp/academy/certification/bls/>

パスワード Mt4JkuPb

■BLS講習会	第0章 開講式 (G2020版)	[4分33秒]
■BLS講習会	第9章 ライフセービングとその活動 (G2020版)	[8分24秒]
■BLS講習会	第1章 心肺蘇生の意義 (G2020版)	[17分42秒]
■BLS講習会	第2章 呼吸・循環のしくみ (G2020版)	[12分18秒]
■BLS講習会	第3章 心肺蘇生の理論 (G2020版)	[15分01秒]
■BLS講習会	第4章 心肺蘇生の実際① ※人工呼吸まで (G2020版)	[23分50秒]
■BLS講習会	第4章 心肺蘇生の実際② ※AEDの使用から (G2020版)	[24分43秒]
■BLS講習会	第5章 小児・乳児の心肺蘇生 (G2020版)	[12分36秒]
■BLS講習会	第6章 気道異物除去法 (G2020版)	[6分54秒]
■BLS講習会	第7章 溺水事故での心肺蘇生 (G2020版)	[6分37秒]
■BLS講習会	第8章 ファーストエイド (G2020版)	[8分57秒]

【ウォーターセーフティ講習会】

<https://ls.jla-lifesaving.or.jp/academy/certification/water-safety/>

パスワード vJ7VQ3qG

■ウォーターセーフティ講習会①	JLA WSの目的とライフセービング	[13分18秒]
■ウォーターセーフティ講習会②	第1章WSの意義～第3章WSの実際	[31分19秒]
■ウォーターセーフティ講習会③	第4章 安全管理	[13分47秒]

【ベーシック・サーフライフセービング講習会】

<https://ls.jla-lifesaving.or.jp/academy/certification/surf-lifesaving-basic/>

パスワード gN39DaL5

■第1章	ライフセービング概論①	[13分10秒]
■第1章	ライフセービング概論②	[14分56秒]
■第2章	ライフセーバーの心がけ	[15分59秒]
■第3章	サーフスキルとトレーニング	[16分56秒]
■第4章	海の知識①	[10分32秒]
■第4章	海の知識②	[15分49秒]
■第4章	海の知識③	[18分30秒]
■第5章	サーフパトロール	[32分04秒]
■第6章	サーフレスキュー	[16分11秒]
■第7章	応急手当	[76分02秒]
■第8章	一次救命処置	[31分16秒]

【プール・ライフゲーディング講習会】

<https://ls.jla-lifesaving.or.jp/academy/certification/poollife-guarding/>

パスワード **s2LAj5f7**

- プール・ライフゲーディング講習会 はじめに [1分33秒]
- 第1章 プール・ライフゲーディングについて [11分48秒]
- 第2章 プールに関する基礎知識 [21分30秒]
- 第3章 プール事故の原因と防止 [17分14秒]
- 第4章 プールの監視体制 [46分38秒]
- 第5章 プール・ライフガード [17分05秒]
- 第9章 プール・ライフガードによる応急手当 [57分25秒]

【アドバンス・プールライフゲーディング講習会】

<https://ls.jla-lifesaving.or.jp/academy/certification/poollife-guarding-advance/>

パスワード **M2ju5KT6**

- アドバンス・プールライフゲーディング講習会 はじめに [1分30秒]
- 第2章 プールに関する基礎知識～水泳プールの安全管理マニュアル～ [92分56秒]
- 第6章 緊急時対応計画 [58分30秒]
- 第8章 頸椎損傷・頸髄損傷の疑いのある場合の救助 [9分00秒]
- 第11章 プール事故と法的責任 [30分58秒]

【更新講習会】

※ウォーターセーフティ以外の資格登録者専用ページで確認できます。

- 1.更新講習会 ライフセービング近年の動向 [13分58秒]
- 2.更新講習会 BLSの重要性と実際 [52分11秒]

《資格登録者・指導員専用ページ パスワード確認手順》

■LIFESAVERSにログイン後、画面中段の『資格・選手登録管理』までスクロール
LIFESAVERSログインURL・QRコード》》<https://life-savers.jp/>



資格・選手登録管理

登録内容照会

取得済みの資格や選手登録の情報を確認することができます。

保有資格一覧

資格種類	すべて	資格区分	すべて
資格	すべて	状態	☐ 現在有効な資格
検索			

保有資格照会

資格情報

資格種類	認定ライフセーバー
資格区分	サーフライフセーバー
資格	ベーシックサーフライフセーバー
都道府県	千葉県
登録団体	千葉県ライフセービング協会

年度	登録状態	有効期限	登録日時	備考
2021	所属（登録）完了	2019/04/01 ~ 2022/03/31	2021/02/19 22:02	

返上申請

資格関連情報

ベーシックサーフライフセーバー用パスワード	青色の部分に記載されています。
ベーシックサーフライフセーバー用ページ	専用ページ閲覧はここから
パトロールユニフォーム	
ト登録専用URL	

青色の部分にパスワードが記載されています。
当年度の資格登録費未払いの方はその旨のメッセージが記載されます。
他者への転送、SNSへの掲載は禁止です。
※パスワードは年度ごとに更新されますので、ご注意ください。

2020年7月28日

JLA指導員 各位

日本ライフセービング協会
JLAアカデミー本部長 風間隆宏

E-learning対応BLS/WS/復活講習会実施報告

7/19（日）神奈川県三浦海岸においてE-learning対応のBLS/WS/復活講習会（16名参加）を初めて開催しました。E-learningを活用し、アカデミー（2012年）以前にBASICやADVANCEを取得した方々が1日で資格を復活できるスケジュールを組んだことで非常に好評でした。今後各地での開催を見据え、スケジュールや受講者からのフィードバック等を指導員に共有します。

◆スケジュール

- 08:00 スタッフ集合 打合せ
- 08:50 BLS受付開始 16名（手指消毒、体調確認、マスクしているか確認）
- 09:00 BLS講習スタート 開講式
- 09:15 BLS実技（実施実技は以下の通り）
3人バディー（6組）。最初に一緒に流れを確認→バディー毎にドンドン回す。イントラは巡回して手技確認。適宜休憩を入れる。ダミーは毎回消毒
- 10:30 BLS実技検定
3人バディーで4組ごとに実施
- 11:00 気道異物除去説明
- 11:05 総合シミュレーション
代表5人位で、シミュレーション
→設定：少年サッカー会場で応援していたら選手にボールが当たり突然倒れた。さてどうする？
→振り返り。NHKニュース映像見る。
- 11:30 BLS学科検定→ 終わり次第アンケート記入
- 11:50 閉講式・新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえた実技について

昼食休憩

- 12:50 WS受付開始 21名（手指消毒、体調確認、マスクしているか確認）
- 13:00 WS講習スタート 開講式
- 13:20 WS学科検定 → 移動・着替え
- 14:00 WS実技（実施実技は以下の通り）

- ・海に入る前のリスクマネジメント（風・波・流れ・津波・気温などの確認）
- ・バディーの確認
- ・ウェードイン、クロール、平泳ぎ、各種ボディーローテーション、スカーリング、



≫≫次ページへ続く

潜入（ヘッドファースト、フィートファースト）、浮き身、ライフセービングバックストローク、キックボードクルージング



ライフジャケットの装着方法、ライフジャケットでのスイム、ハドルポジション
水中でのライフジャケットの着用、ドライレスキュー（トーク、リーチ、スロー）



- 15:30 閉講式
- 15:00 復活講習受付開始（手指消毒、体調確認、マスクしているか確認） 復活のみの受講生の着替え
- 15:30 復活講習スタート 開講式
- 15:40 水慣れ&W-up インアウト、ボード慣れ
- 16:00 ボードレスキュー&チューブレスキュー練習（アドバンス9名とベーシック7名に分ける）
- 16:30 検定



- 17:00 閉講式&片付け
- 最近のJLAトピック（更新講習動画紹介、ILS準拠等）、BASIC学科動画の紹介、写真撮影
- 今後の手続き説明（登録費など）

≫≫次ページへ続く

【所感】

◆E-learningについて

- 時間が限られている社会人には、自分の空いた時間に見られるので非常に好評であった。
- 1人動画のURLがメールで届いていない受講生がいた。送付後、届いているか確認をした方がよい。

◆BLS実技について

- 復活講習受講者は、昔の実技でおぼえている人がいる。そのため、以前と現在の手技の違いを説明し、なぜ省略になったかを解説することによって、納得感をもって実技に入ってもらえた。

◆WS実技について

- 復活講習受講者は、基本スキルが高い人が多い。単に実技を行うだけでなく、WSの意義や子供達に教える場合は、このような方法があるなど解説することによって、納得感をもって実技に入ってもらえた。

◆復活講習実技について

- ボードレスキュー、チューブレスキューとも意識無しで、ドラッグしてあげるところまでを実施。
- 現在のレスキュー方法を一通り確認した
- 受講生の体力・技術レベルを良く観察し、怪我がないように十分注意して実施した。
- 体格差があるバディーでレスキューする場合、ドラッグ時など十分配慮した。
- ADVANCE受講者にはフィンの持参を案内が必要である。

◆全体を通しての感想

- 1日で終了できるというのは大きな魅力。
- 1日で終了させる場合、学科と実技（海）会場の移動がスムーズな場所でないといけない。
- 同じクラブや浜のメンバーが、誘い合わせて参加して頂き、非常に和気あいあいとした雰囲気講習会を行うことができた。
- WSの開講式でe-Lifesavingの動画を使用しても良いと感じた（今回は使用せず）。

以上